

野生生物調査協会レポート

第7号

2018年5月

CONTENTS

- 第13回シンポジウム 「機器の発達と新たな視点による活用法」
- 1 シンポジウム概要
 - 2 樹木診断機器の最新の動向について 松本 竹吾(株式会社緑生研究所)
 - 6 昆虫同定の新しい技術 — 走査型電子顕微鏡を用いた形態観察、甲虫を例に —
亀澤 洋(株式会社環境指標生物)
 - 10 リアルタイム自動撮影カメラの利用 井上 剛(株式会社地域環境計画)
 - 14 SSP-PCR法による外来淡水エビ *Palaemon sinensis* の種判別と環境DNAを用いた
早期検出方法の検討
平岡 礼鳥(株式会社日本海洋生物研究所)
 - 18 環境調査におけるUAVの活用事例 須藤 哲平(株式会社エコリス)
 - 22 UAVを用いた物理環境変化の把握 —新たな視点で河川の土砂移動、環境の変化を把握—
鈴木 雅人(株式会社環境アセスメントセンター)
 - 26 第13回シンポジウム 懇親会レポート
 - 27 教育研修委員会報告 「安全講習会」
 - 27 NPO 法人野生生物調査協会 会員名簿